

数字：通巻頁数, ()内数字：号数

Nomade

医師の働き方改革に思う……………相澤 俊峰…………	3(1)
神経生理検査の「スキマ」と私 ……………逸見 祥司…………	71(2)
ロボットから教わる歩行運動…中西 一義…………	155(3)
人生のファー……………岩月 幸一…………	213(4)
脊椎外科医の統計うんちく…………武中 章太…………	291(5)

特 集

◆椎間板の基礎と臨床◆

特集にあたって……………中村 雅也…………	5(1)
椎間板変性における慢性炎症と各種ストレス ……………藤田 順之…………	6(1)
椎間板変性とオートファジー…………… 由留部 崇・武岡 由樹・神田裕太郎 伊藤 雅明・垣内 裕司・辻本 龍 黒田 良祐・角谷賢一朗…………	13(1)
椎間板治療のバイオマテリアル開発 ……………須藤 英毅…………	19(1)
神経根性疼痛や椎間板性腰痛に対する抗サイト カイン療法…………… 大鳥 精司・西能 健・佐藤 淳 折田 純久・稲毛 一秀・志賀 康浩 江口 和・牧 聡・古矢 丈雄…………	23(1)
椎間板変性に対する PRP 療法 ……………川口 航希・明田 浩司…………	29(1)
腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ療 法……………坂野 友啓・松山 幸弘…………	35(1)
ヒトリコンビナント MMP-7 を用いた腰椎椎間 板ヘルニアに対する椎間板内治療 ……………波呂 浩孝…………	43(1)
椎間板変性に対する細胞移植療法 ……………小笠原頌太・酒井 大輔…………	47(1)
iPS 細胞を用いた椎間板再生治療の現状と展 望……………	

萩澤 宏樹・釜谷 崇志・妻木 範行

海渡 貴司…………… 53(1)

◆術中脊髄機能モニタリングの◆

UP TO DATE

特集にあたって……………松山 幸弘…………	73(2)
術中脊髄モニタリングの歴史と基本的な考え方 ……………安藤 宗治…………	74(2)
感覚系モニタリングと運動系モニタリング ……………高橋 雅人・里見 和彦…………	83(2)
経頭蓋刺激運動誘発電位のアラームポイントと レスキュー操作…………… 吉田 剛・松山 幸弘・後迫 宏紀…………	91(2)
経頭蓋刺激脊髄誘発電位 (D-wave) の有効 性…………… 重松 英樹・高谷 恒範・宮林 知誉…………	95(2)
成人脊柱変形手術に対するモニタリング…………… 吉田 剛・松山 幸弘・後迫 宏紀…………	99(2)
頸椎後縦靱帯骨化症に対するモニタリング—頸 椎性脊髄症との比較……………船場 真裕…………	105(2)
胸椎後縦靱帯骨化症に対する術中脊髄モニタ リング…………… 小林 和克・佐藤 公治・安藤 圭 今釜 史郎…………	111(2)
脊髄内腫瘍に対するモニタリングの変遷—ア ラームポイントからグレーディングへ ……………藤原 靖・荒川 保雄…………	117(2)
経頭蓋刺激・運動誘発電位モニタリングの偽陽 性アラームの理解と対応—Anesthetic fade 現象とは?…………… 後迫 宏紀・吉田 剛・松山 幸弘…………	125(2)
脊磁図による脊髄・馬尾・神経根の機能評価… 川端 茂徳・橋本 淳・吉井 俊貴 大川 淳…………	131(2)
経頭蓋末梢筋誘発電位の麻酔 ……………小川 裕貴・川口 昌彦…………	135(2)
術中脊髄モニタリングの手術室管理 ……………高谷 恒範…………	139(2)

◆脊髄障害とニューロモデュレーション NOW◆

特集にあたって……………飛驒 一利……	157(3)
脊髄損傷後の痙縮に対するボツリヌス療法 ……………菊地 尚久……	158(3)
脊髄損傷後の痙縮に対するバクロフェン療法 (ITB療法)……………	
河野 修・横田 和也・益田 宗彰……	165(3)
脊髄障害性疼痛に対する脊髄刺激療法 (SCS)…	
笹森 徹・矢野 俊介・飛驒 一利……	171(3)
脊髄損傷後の痛みに対する反復経頭蓋磁気刺激 療法 (rTMS)……………細見 晃一……	179(3)
脊髄損傷による呼吸不全に対する横隔膜ペーシ ングシステム……………益田 宗彰……	185(3)
神経因性下部尿路機能障害に対する仙骨神経刺 激療法……………関戸 哲利……	191(3)
神経因性膀胱に対するボツリヌス療法 ……………坂元 史稔……	197(3)

◆脊椎脊髄手術における内視鏡・外視鏡・ 顕微鏡の利点・欠点◆

特集にあたって……………高見 俊宏……	215(4)
顕微鏡手術：蛍光観察技術—血流：Indocyanine Green Videoangiography ……………内藤堅太郎・高見 俊宏……	216(4)
5-アミノレブリン酸 (5-ALA) を利用した蛍光 ガイド下脊髄腫瘍摘出術の実際と展望 ……………遠藤 俊毅……	223(4)
Augmented reality (AR) を用いた顕微鏡下脊 椎脊髄手術……………青山 正寛・原 政人……	229(4)
頭蓋頸椎移行部病変に対する内視鏡下経鼻的ア プローチ……………辛 正廣……	235(4)
内視鏡手術：頸椎後方除圧—頸椎疾患に対する 脊椎内視鏡下後方除圧術の臨床成績からの利 点・欠点……………南出 晃人……	243(4)
MED システムを用いた腰椎後方除圧—脊椎内 視鏡手術の利点と欠点……………中川 幸洋……	253(4)
全内視鏡下腰椎後側方固定術—Full Endo- scopic Lateral Lumbar Interbody Fusion (FELIF)……………	
西村 泰彦・吉村 政樹・北山 真理 服部 剛典……………	261(4)
外視鏡の基本特性と脊髄外科を含めた脳神経外 科手術におけるその応用……………	

池田 直廉・川西 昌浩・横山 邦生 高見 俊宏・鰐淵 昌彦……………	269(4)
外視鏡—脊椎脊髄手術への応用……………	
安原 隆雄・佐々田 晋・金 恭平 藪野 諭・大谷 理浩……………	275(4)

◆脊髄および末梢神経鞘腫瘍のすべて◆

特集にあたって……………原 政人……	293(5)
末梢神経鞘腫瘍の病理 ……………内藤 裕・元井 亨……	294(5)
神経鞘腫の細胞像……………	
山口 大介・原田 美香・香田 浩美 小寺 明美・板倉 淳哉……………	303(5)
神経鞘腫瘍の画像診断 ……………大木 望・上谷 雅孝……	309(5)

■神経鞘腫瘍の手術：脊髄腫瘍（神経鞘腫）

硬膜内髄外腫瘍の手術……………高見 俊宏……	319(5)
ダンベル腫瘍の手術……………村田 英俊……	325(5)
髄内神経鞘腫……………佐々田 晋・安原 隆雄……	331(5)

■神経鞘腫瘍の手術：末梢神経鞘腫瘍

末梢神経鞘腫の手術……………	
原 政人・青山 正寛・前島 竜八……	337(5)
神経線維腫……………吉田 雄一……	345(5)
悪性末梢神経鞘腫瘍……………	
西田 佳弘・浦川 浩・生田 国大 酒井 智久・小池 宏・藤戸 健雄……	351(5)

■その他の脊髄神経鞘腫の治療

脊髄神経鞘腫に対する体幹部定位放射線治療 ……………水松真一郎……	357(5)
分子標的薬などの化学療法 ……………大谷 理浩・安原 隆雄……	365(5)
NF2 関連神経鞘腫の腫瘍微小環境と免疫療法 の可能性……………田村 亮太・戸田 正博……	371(5)

◆脊椎脊髄のエクステンデッド・ リアリティ (XR)◆

特集にあたって……………永島 英樹……	385(6)
XR 技術を活用した脊椎手術—MIST—への新し いアプローチ……………成田 渉……	386(6)
ディスプレイカメラを用いたアプリ	

ケーショ型脊椎ナビゲーションは拡張現実を一般化する……………佐々木寛二……………	393(6)
拡張現実 (AR) ナビゲーションシステムを用いた脊椎手術……………	
船尾 陽生・磯貝 宜広・石井 賢……………	399(6)
Augmented reality (AR, 拡張現実) を用いた顕微鏡脊椎手術……………藤原 靖……………	405(6)
内視鏡手術・ロボット手術における位置情報の現状と未来……………	
北濱 義博・静 弘生・本山 大輔	
尾原 裕康・土田隼太郎・三宅 秀明	
酒井 克彦……………	413(6)
外視鏡と extended reality (XR)……………	
山根健太郎・成田 渉・高尾真一郎	
竹内 一裕……………	423(6)
VR を用いたリハビリテーションによる高齢者の運動機能向上の取り組み……………	
……………三浦 紘世・山崎 正志……………	431(6)
エクステンデッド・リアリティ (XR) を用いた医学教育—脊椎手術中心に……………	
森本 忠嗣・福森 則男・平田 寛人……………	435(6)

◆首下がり症候群の病態と治療◆

特集にあたって……………山崎 正志……………	455(7)
神経筋疾患による首下がり症候群……………	
……………逸見 祥司……………	456(7)
パーキンソン病における首下がり症候群……………	
……………関 守信……………	463(7)
首下がり症候群に対する三次元動作解析を用いた脊椎アライメントの定量的歩行評価……………	
三浦 紘世・門根 秀樹・朝田 智之	
坂下孝太郎・角南 貴大・山崎 正志……………	469(7)
頸椎高度後弯変形 (首下がり) 症例の治療戦略……………	
高橋 敏行・兼松 龍・南 学	
三谷 幸輝・花北 順哉……………	473(7)
首下がり症候群の単純 X 線像評価指標……………	
……………竹本 充……………	479(7)
首下がり症候群に対する手術戦略—脊柱代償機能と T1 slope の重要性に着目して……………	
……………水谷 潤……………	489(7)
全脊椎アライメント評価から展開する首下がりに対する手術戦略……………宮本 裕史……………	497(7)

SVA (+) タイプの首下がり症候群に対する手術戦略……………	
國府田正雄・船山 徹・高橋 宏	
野口 裕史・三浦 紘世・山崎 正志……………	503(7)
首下がり症候群に対する術後成績不良因子—胸腰椎アライメント不良を伴う首下がりに対する治療戦略と術後嚥下障害に対する当科の取り組み……………	
……………工藤 理史・早川 周良……………	509(7)
首下がり症候群に対する運動療法……………	
遠藤 健司・佐野 裕基・山内 智康	
石山 昌弘・山中 邦裕・上野 竜一	
鈴木 秀和・西村 浩輔・山本 謙吾……………	515(7)
首下がり症候群に対する新たなリハビリテーション (SHAIR) プログラム……………	
井川 達也・浦田龍之介・石井 賢……………	521(7)
HAL 歩行訓練による首下がり改善効果の解析……………	
門根 秀樹・三浦 紘世・久保田茂希	
國府田正雄・山崎 正志……………	525(7)

◆STOP！脊椎脊髄外科における放射線被曝◆

特集にあたって……………根尾 昌志……………	541(8)
医療用放射線被曝に関する基礎と最近の動向……………	
……………柳川 康洋……………	542(8)
各種検査における患者およびメディカルスタッフの被曝について……………	
米虫 敦・碓井 太雄・福田 将啓	
九住 龍介・奥野 奈央・高原 千咲	
鈴木 聡史・中谷 幸・小野 泰之	
丸山 拓士・狩谷 秀治・宇都宮啓太	
谷川 昇……………	549(8)
脊椎脊髄外科医の職業被曝の現状と低減対策—総論……………	
……………山下 一太……………	557(8)
低侵襲脊椎手術における放射線被曝低減対策……………	
……………船尾 陽生……………	565(8)
皮膚科専門医の診断に基づく脊椎脊髄外科医の手指の放射線障害調査……………	
浅利 享・六戸 大樹・佐々木英嗣	
金子 高英・和田簡一郎・石橋 恭之……………	571(8)
自分自身の経験から職業被曝について考える……………	
……………二階堂琢也……………	575(8)
透視下腰椎神経根ブロックにおける散乱線と眼の水晶体の被曝について……………	
……………武藤 俊一……………	581(8)

放射線被曝ゼロの超音波ガイド下インターベン ション……………岩崎 博・山田 宏……	591(8)
子どもの腰痛疾患診療における MRI のみでの 骨評価……………	
木下 大・酒井 紀典・西良 浩……	597(8)
低被曝術中 CT と navigation を用いた思春期特 発性側弯症手術—患者被曝を減らし、術者被 曝をゼロに……藤城 高志・根尾 昌志……	603(8)

◆Parkinson 病と脊椎◆

特集にあたって……………亀山 隆……	623(9)
Parkinson 病の疾患そのものに起因する姿勢異 常—オーバービュー……………関 守信……	624(9)
Parkinson 病の姿勢異常と脊椎変形—背景因子 のオーバービュー……………福武 敏夫……	631(9)
Parkinson 病と腰痛……………大鳥 精司……	641(9)
Parkinson 病患者の脊椎アライメント ……………渡邊 慶・長谷川和宏……	649(9)
Parkinson 病の姿勢異常に対する保存的治療 ……………高嶋 俊治・山内 克哉……	655(9)
Parkinson 病の姿勢異常と電気刺激療法…………… 安原 隆雄・佐々田 晋・馬越 通有 三好 康之・佐々木達也・伊達 勲……	661(9)
Parkinson 病患者の脊柱変形に対する矯正固定 術……………大和 雄……	667(9)
Parkinson 病患者の骨粗鬆症性椎体圧潰に対す る手術療法……………	
木村 竜太・小林 孝・宮腰 尚久……	673(9)
Parkinson 病患者の周術期におけるチーム医療 の重要性……………	
大江 慎・大和 雄・長谷川智彦 吉田 剛・坂野 友啓・松山 幸弘……	679(9)

◆わかればみえる！ 脊椎手術術野への アプローチ◆

特集にあたって……………筑田 博隆……	693(10)
小児頸椎手術のアプローチ—成人との違いに注 目して……………	
竹下祐次郎・齊木 文子・三好 光太……	694(10)
胸腰椎移行部へのアプローチ…小谷 俊明……	703(10)
側方経路椎体間固定術—後腹膜腔の微小解剖と 合併症の回避……………	

上田 茂雄・小原 次郎・大塚 宗廣 豊嶋 敦彦・福田 美雪・佐々木伸洋 黒田 昌之・寶子丸 稔……………	709(10)
上位腰椎に対する TES—横隔膜脚の解剖とそ の処理……………	
村上 英樹・鈴木 伸幸・加藤 賢治 八木 清・後藤 祐太……………	719(10)
腰仙椎正中アプローチの際の解剖と手術—経腹 膜法、腹膜外路法……………大鳥 精司……	723(10)
仙骨 S3 離断に必要な解剖……………秋山 達……	729(10)
くも膜を温存した腹側髄膜腫、特発性胸髄ヘル ニアの手術と歯状靱帯の解剖 ……………星地亜都司……	735(10)
脳表へモジデリン沈着症—硬膜の解剖と修復方 法……………吉井 俊貴・橋本 泉智……	739(10)

◆脊椎脊髄疾患のインターベンショナル ラジオロジー (IVR)◆

特集にあたって……………堀 正明……	757(11)
骨粗鬆症性椎体骨折に対する vertebral body stenting (VBS) の実際……………船山 徹……	758(11)
椎体腫瘍に対するラジオ波焼灼療法…………… 川端 隆寛・富田 晃司・平木 隆夫……	765(11)
椎体腫瘍に対する凍結治療…………… 川端 隆寛・富田 晃司・平木 隆夫……	771(11)
脊髄血管奇形の血管内治療 (硬膜内) ……………水谷 克洋・秋山 武紀……	777(11)
胸腰椎の脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻に対する血 管内治療……………	
平松 匡文・杉生 憲志・安原 隆雄……	787(11)

◆目で見て学ぶ脊髄・末梢神経疾患の 診察法 (動画付き)◆

企画 『脊椎脊髄ジャーナル』編集委員会 特集にあたって……………高橋 敏行……	805(12)
--	---------

第 1 章 基本的神経診察

上肢の筋力評価……………園生 雅弘……	808(12)
下肢の筋力評価……………園生 雅弘……	813(12)
その他の運動系 (筋萎縮, fasciculation, 筋ト ースなど)……………逸見 祥司……	817(12)
上肢, 顔面, 体幹の反射……………安藤 哲朗……	825(12)
下肢の腱反射・病的反射……………黒川 勝己……	831(12)

感覚障害……………亀山 隆………… 841(12)

脊椎の徴候……………

菅野 晴夫・半田 恭一・小澤 浩司………… 851(12)

機能性筋力低下を見極める徴候

……………園生 雅弘………… 859(12)

第2章 特徴的な歩行と異常姿勢

起立歩行の徴候総論
望月 仁志・佐藤 有生..... 872(12)

パーキンソン症候群の歩行と姿勢反射—脳神経
 外科の立場から.....佐々木達也..... 879(12)

頭部の姿勢異常と歩容変化—三次元動作解析を
 用いた歩行評価.....

三浦 紘世・門根 秀樹・朝田 智之
 坂下孝太郎・角南 貴大・山崎 正志..... 885(12)

腰部の姿勢異常と歩容変化.....

有馬 秀幸・大和 雄・長谷川智彦
 吉田 剛・坂野 友啓・松山 幸弘..... 891(12)

第3章 特徴的な手足の徴候

ミエロパチーハンド (myelopathy hand) —特徴と実際の動画……………

岩崎 幹季・松本 富哉・高橋 佳史
長本 行隆・海渡 貴司…………… 900(12)

ミエロパチーハンドと紛らわしい神経疾患による手の徴候……………神林 隆道………… 907(12)

平山病……………桑原 聡………… 913(12)

ALS と脊椎疾患の鑑別に役立つ手足の症候……………園生 雅弘………… 917(12)

脊髄係留症候群……………林 俊哲………… 927(12)

第4章 非腰椎性腰殿部痛の診察

上殿皮神經障害・中殿皮神經障害・中殿筋障害
.....藤原 史明..... 934(12)

第5章 關節疾患

肩關節疾患……………設樂 仁…… 940(12)

股関節疾患の診察法……………
古橋 弘基・清水 雄太・松竹 由晃
松山 幸弘…………… 951(12)

膝関節疾患—膝関節における基本的な身体診察
法…………… 伊藤 淳哉・岡崎 賢………… 957(12)

第6章 末梢神經疾患

目で見て学ぶ手根管症候群の診察法—しびれ感の部位、徒手筋力テスト、鑑別診断に留意して……………長谷川和重……………964(12)

肘部管症候群とギヨン管症候群の診察法……………井汲 彰……………975(12)

胸郭出口症候群の診断および治療方法……………寺尾 亨・斎藤江美子・牧野 英彬
斎藤 匠・蠣崎 昭太・谷 諭
村山 雄一・大橋 聡……………983(12)

真の神経性胸郭出口症候群……………園生 雅弘……………991(12)

外側大腿皮神経障害の診断と治療……………森本大二郎・金 景成・井須 豊彦……………997(12)

梨状筋症候群……………金 景成・三原 陸・尾関 友博
井須 豊彦……………1003(12)

足根管症候群・腓骨神経障害……………藤原 史明・金 景成・井須 豊彦……………1009(12)

書 評

「脊椎・脊髄疾患の外科 第2版」
高見 俊宏..... 613(8)

特別寄稿

開胸手術の術後管理—髄液漏管理を中心に……

兼松	龍・高橋	敏行・南	学
須田	泉・中村	翔・徳永	真也
花北	順哉	……………	441(6)